



Nigerian Union Presents

CHILDREN'S DAY

報告

5/29 Sun, 2016

文責：エバデダン愛琳

5月29日(日)、埼玉県草加にあるアコスホールにて、第2回ナイジェリアユニオン子どもの日イベントが開催されました。総勢200人近くの参加者に加え、埼玉県警からもゲストが参加。昨年に比べより大きな規模で大成功となりました。

AJFは今年も司会の通訳や子どもたちとの企画などのお手伝いをさせていただきました。インターン生を中心に事前準備から分担して取り組むことができました。

塩川さんが作成してくださったキッズクラブの活動報告書は、活動を説明する際に大いに役立ち、見やすいビジュアルと共に保護者の方から好評でした。来年度はさらに英語の文書も追加できるとよいという意見が上がったこともまた参考になるかとおもいます。

わたしと、ユースグループの家野君、輝君の3人で進行を担当したクイズ企画はたくさんの子供たちに参加してもらえました。事前準備から、全世代が楽しめるような内容にするあたりが苦勞しましたが、キッズクラブのお母様方にもお力添えいただいたおかげで、大盛り上がりとなりました。思っていたよりも興味を持っていただけたので、問題数をもう少し増やしてもよかったのかなとおもいます。さらにキッズクラブの活動に興味を持ってもらえたのに連絡先を示していなかったり、日本語のみの案内になってしまったので、もう少し親世代向けの案内を充実させればよかったと思います。





また、去年よりも 10 代後半～20 代のユース世代がかなり多かったところも驚きでした。それぞれ



高校生で部活が忙しかったり、大学生であったり就職活動中であったりと、会ってすぐに打ち解けて話すことができました。同じバックグラウンドであるとうことで目に見えないような絆を感じました。ユースグループに何人かは招待できたのでそちらの活動も併せて、夏のキャンプに向けて準備を始めていければと思います。

また、保護者の方からも「親にはわからないミックスの子ならではの悩みがあるからこそ同じバックグラウンドを持つお兄さんお姉さんの存在は大きい」と声をかけていただけました。また「同じミックスの子を持つ親として、こういう場で交流ができることは大きい」ともおっしゃっていました。このような貴重なコミュニティに AJF として参加できたことはとても光栄なことだと思います。

規模の大きさなども含め、今後の在日ナイジェリア人コミュニティの勢いを感じることができた 1 日で



した。